

## 第2回大分市教育ビジョン検討委員会 会議要旨

日時：平成 28 年 7 月 19 日（火） 15:00～17:00

場所：大分市教育センター 研修室 202

○出席者 14 名、欠席者 1 名

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

伊藤会長から開会に当たってあいさつ。

### 3. 議事

#### (1) 基本構想について

資料の 1 ページから 8 ページを基に、事務局から大分市教育ビジョンの基本構想について説明する。

(説明内容の概要)

○大分市教育ビジョンの「策定の趣旨」「位置付け」「対象範囲」「計画の期間」を説明した後、教育を取り巻く社会の動向やこれまでの取組状況を説明。

○基本理念は「豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむ」とし、その実現に向け 6 つの基本方針を定めるとともに、「縦の接続」と「横の連携」の 2 つの視点により、つなぎ・つながる教育の展開を図る。

#### <主な意見・質問等>

【委員】教育を取り巻く社会の動向の中にある「チーム学校の推進」というのは流行りの動向だが、伝統的な学級担任制について言及されていない。これらが関連するような言葉が入ると良いと思う。

【委員】現行の教育ビジョンを策定する際に目指す人間像を示すように強く言われた覚えがある。資料を見ると目指す人間像が無いようだが、あえて外したのか、それともどこかに入っているのだろうか。

【事務局】新たな教育ビジョンの策定に当たっては、大分市総合計画を踏まえ、大分市教育大綱を反映させることとしている。資料 7 ページの基本理念の説明の中には目指す人間像に係る記載が含まれていることから、今回の提案では別途項目としては起こしていない。

#### (2) 基本計画について

資料の 10 ページから 24 ページを基に、事務局から基本計画のうち基本方針 1 「生きる力をはぐくむ学校教育の充実」に係る内容を説明する。

(説明内容の概要)

○基本方針 1 の重点施策 (1) 生きる力をはぐくむ教育活動の展開、(2) 学校の創意工夫による教育の充実、(3) 個に応じた教育活動の充実、(4) 幼児教育の充実について説明。

<主な意見・質問等>

●重点施策（１）生きる力をはぐくむ教育活動の展開

- 【委員】平成29年4月から大分市初の義務教育学校として碩田学園が開校する。碩田学園の小中一貫教育9年間の教育課程を、他の小中学校がモデルとして参考にできるようなものにして欲しい。
- 【委員】色々な調査から、家庭における生活習慣と学力の間には相関関係があることが分かっているのので、家庭学習の充実（資料P13）に関しては、家庭との連携といった趣旨の言葉を書き足して欲しい。
- 【委員】学力調査における全国平均以上の教科の数の割合という指標（資料P13）が100%になっているのは目標としては素晴らしいが、現実的には、継続して一定水準以上を達成して行くことが重要だと思うので、例えば90%以上というような設定方法もあると思う。
- 【委員】ALTを活用する学年の拡大という指標（資料P14）が小学校中学年以上となっているが、平成32年度から外国語活動が小学3年生まで拡大され、5・6年生は教科化されるので、平成31年度の指標は良いが、平成36年度の指標は当たり前過ぎないか。
- 【事務局】ALTを年間10回以上活用する場合を想定しているので言葉を補いたい。
- 【委員】ALTそのものの人数は増えるのか。
- 【事務局】今の人数であれば、年間10回実施しても中学校への派遣に影響がない見込みである。
- 【委員】大友宗麟副読本等を活用した郷土の歴史学習の充実（資料P15）とあるが、大分は大友宗麟以外にアルメイダやザビエルなども有名なので、子どもたちには地元の色々な歴史に触れる機会を提供して欲しい。
- 【委員】性に関する指導の充実の指標（資料P17）として年間計画に基づく実践をした小中学校の割合が現状62.2%、平成31年度80%となっているが、教育課程に位置付けて年間計画を作成しているにもかかわらず実施率が60%とか80%では低すぎるのではないか。
- 【委員】食に関する指導の充実（資料P18）については、指標にあるように単に毎日朝食を食べる児童生徒を100%にするだけでなく、例えばアンケートの取り方を工夫して何を食べたか分かるようにするなど、全体的な取組をすることで、食習慣の問題に踏み込んで行って欲しい。
- 【委員】ネットセキュリティに関する指導は施策としてあるか。最近は小学校低学年でもインターネット等に触れる機会が増えており、小さい頃から指導をする必要があるという話を聞いた。
- 【事務局】情報モラル教室を実施しているが、教育ビジョンの中に単独の取組項目としては設定していない。
- 【委員】歯と口の健康づくりの取組（資料P17）の推進に当たっては、学校の負担が増えると思うので、家庭や地域などを含めて幅広く分担できるような方向性を出して欲しい。
- 【委員】防災教育の推進（資料P18）を見ると、取組の概要は子どもに関することを書いており、指標は保護者に関することを書いているため整合性を図る必要があると思う。

### ●重点施策（２）学校の創意工夫による教育の充実

【委員】学校関係者評価の結果を公表する学校の割合（資料P20）が指標になっているが、公表しない学校もあるのか。

【事務局】学校関係者評価の公表は法的には努力義務となっている。自己評価については全校で公表しているが、学校関係者評価となると指標にあるような数字となっている。

### ●重点施策（３）個に応じた教育活動の充実

【委員】子どもの理解度に応じて教科ごとにクラス分けができないか。全員が同じ授業を受けると、授業を理解していない子は分からないまま進んだ時に授業が面白くなり、それが不登校につながったりすることもあると思う。子どもには授業が分かる喜びを感じて欲しい。

【事務局】学校では状況に応じて習熟度別指導等を実施している。その際、2つのコースを設定しどちらの授業を受けるか子どもに選択させるなどの工夫をしている。

【委員】いじめ・不登校の未然防止に関して言うと、大分県は不登校出現率が非常に高い。相談体制の充実によって未然防止になるかもしれないが、もっと本腰を入れる必要があると思う。指標（資料P22）にあるように学校復帰率も重要だが、未然防止ということが取組項目として設定できたら良いと思う。

### ●重点施策（４）幼児教育の充実

【委員】幼稚園は義務教育ではないので私学になるのだが、公立の小学校に公立の幼稚園が併設されているのは大分の特徴である。せっかくこういう環境があるので幼保小の連携を着実に進めて行って欲しい。

【委員】幼稚園や保育所と小学校との連携は特定の所しかできていないので難しい。就学前児童と小学生の交流活動や幼稚園教諭・保育士等と小学校の先生との合同研修などがさらに推進されると良いと思う。

【委員】具体的施策③（資料P24）で「預かり保育や子育て支援など、地域における子育て支援の充実に努めます」とあるが、取組の概要や指標に預かり保育のことが書かれていない。取組の概要の所に入れてはどうか。

## 4. その他

事務局から次回の日程について説明する。

○第3回大分市教育ビジョン検討委員会は8月30日（火）の15：00から大分市教育センター研修室202で開催。

## 5. 閉会

荒金副会長から閉会のことば。